



第20回 環境リモートセンシングシンポジウム

場所 千葉大学けやき会館 3階 レセプションホール・エントランスホール
日時 2018年2月15日(木) 8:45~16:00

—プログラム—

8:45-8:50 開会の挨拶 安岡センター長(3階 レセプションホール)

【口頭発表】 9:00-12:15(発表:10分、質疑:5分)(3階レセプションホール)

(座長 1-3:樋口篤志)

(1) 9:00-9:15

インド亜大陸北東部の雨滴粒度分布と衛星搭載降雨レーダー観測

村田文絵(高知大学自然科学系)・林 泰一・木口雅司・山根悠介・福島あずさ・寺尾 徹

(2) 9:15-9:30

マイクロ波放射計、散乱計及びメソ気象モデルを用いた洋上風力資源量推定手法

香西克俊(神戸大学・海事科学研究科)・大澤輝夫・杉山康弘

(3) 9:30-9:45

気候モデル数値実験結果による衛星プロダクト導出アルゴリズムの検証

—衛星観測海氷データの活用—

馬淵 和雄(国立環境研究所)

(座長 4-6:入江仁士)

(4) 9:50-10:05

大気補正プログラムのコンテナ化とその利用

飯倉善和(弘前大学大学院理工学研究科)・久世宏明・関口美保・眞子直弘

(5) 10:05-10:20

探査機リモートセンシングデータを用いた火星大気環境の研究

野口克行(奈良女子大学大学院自然科学系)

(6) 10:20-10:35

巨大地震・津波の予測システムの開発とその社会実装(実用化試験)プロジェクト

服部 克巳(千葉大学院理学研究院)

(座長 7-9 : 山崎文雄)

(7) 10:40-10:55

震災津波人命リスクモデルの汎用化と対象域の拡大
—相模湾湘南域の鎌倉市から藤沢市への適用—
金子大二郎 ((株) 遥感環境モニター)

(8) 10:55-11:10

Xバンド航空機 SAR 画像を用いた橋梁の地震・津波被害抽出
平野晴也 (千葉大学工学研究院)・劉 ウェン・山崎文雄

(9) 11:10-11:25

A New Unsupervised Classification of Collapsed Buildings Using Terra SAR-X Imagery,
Hazard Distribution and Fragility Functions
Luis MOYA (東北大学災害科学国際研究所)・山崎文雄・劉 ウェン

(座長 10-12 : 本多嘉明)

(10) 11:30-11:45

マルチプラットフォーム衛星解析と地上レーザーによる森林災害評価
加藤 顕 (千葉大学園芸学研究所)・若林裕之・ヨサファット T. S. スマンティヨ

(11) 11:45-12:00

ドローンによる里地里山生態系の観測
永井 信 (国立研究開発法人海洋研究開発機構)・梶原康司・斎藤 琢・吉竹晋平・本多嘉明

(12) 12:00-12:15

太陽光を利用した群落レベルでのスタンドオフ植物蛍光測定
増田健二 (静岡大学 技術部)・眞子直弘・田中 佑・白岩立彦・久世宏明

【ポスターセッション】 (エントランスホール) ポスターサイズ : A 0 版

コアタイム 15 : 00-16 : 00 掲示時間 8:45-16 : 00

- (1) 奈良における地上光学観測データ解析によるエアロゾルの経年変化
久慈 誠 (奈良女子大学大学院自然科学系)・山本 咲・萩原美沙子
- (2) UAV 搭載 CP-SAR システムのためのプリント基盤設計
浜口 暢 (千葉大学工学研究院)・文屋 勝・難波 一輝・ヨサファット T. S. スマンティヨ
- (3) 小型 UAV を用いた 3 次元森林モデル作成手法に関する研究
—八ヶ岳山麓のカラマツ林を対象に—
齋藤有希 (首都大学東京 都市環境学部)・長谷川 宏一・泉 岳樹・松山 洋
- (4) アイスアルジーのためのリモートセンシング手法の開発
朝隈康司 (東京農業大学 生物産業学部)

- (5) Landsat 衛星画像を用いたオブジェクトベース手法とピクセルベース手法による
地表面分類の比較—熊本を事例に—
立木咲希（首都大学東京 都市環境科学研究科）・山本遼介・泉 岳樹
- (6) GOSAT FTS TIR から導出したメタンプロファイルデータを用いた上部対流圏の
メタン変動について
江口菜穂（九州大学 応用力学研究所）・齋藤尚子・丹羽洋介
- (7) DOAS 法による生活環境圏における CO₂ 濃度の計測と検証
飯田大貴（茨城大学大学院理工学研究科）
- (8) UAV リモートセンシングに基づく水稲の玄米タンパク含有率推定と味のグラフ化
濱 侃・田中 圭（一般財団法人 日本地図センター）・望月篤・鶴岡康夫・近藤昭彦
- (9) SAR データを使用した稲作地の浸水域抽出
若林裕之（日本大学 工学部）・北神貴久・本橋和重
- (10) Effective Feature Selection for Damaged Buildings Using Post-Earthquake Satellite
Image with Machine Learning
朴 鍾杰（東京情報大学総合情報学部）
- (11) MODIS と Landsat を用いた機械学習による日本の植生分類
金ヨンファン（東京情報大学総合情報学部）・朴 鍾杰・浅沼市男
- (12) マルチスペクトルカメラを用いた UAV 農業リモートセンシング
小花和宏之（株式会社 ビジョンテック）・加藤 顕
- (13) 空間データに基づいた未来地域デザイン科学の試行的検討
小林達明（千葉大学園芸学研究科）・近藤昭彦・高橋輝昌・宮崎美砂子
- (14) 火星地表から LED LIDAR を利用したダスト観測の地上模擬実験
千秋博紀（千葉工業大学惑星探査研究センター）・椎名達雄・乙部直人・はしもと じょーじ・
眞子直弘・久世宏明・梅谷和弘
- (15) ミリ波雲レーダ FALCON による雲雨の内部構造ドップラー解析
鷹野敏明（千葉大学工学研究院）・鈴木康樹・小池康太・森川康平・笛田 亮・五十嵐 涼・
森田日向・水田篤秀・河村洋平・中田裕之・大矢浩代・高村民雄
- (16) TRMM 時代以前の全球降水マッププロダクトの試作と降水の気候変動解析
山本宗尚（京都大学理学研究科）・重 尚一・樋口篤志
- (17) バリ島における衛星データを使用した乾燥計測と農業乾燥の研究
大澤高浩（ウダヤナ大学海洋科学リモートセンシング研究センター）・アブドララフマン

- (18) シミュレーションモデルとリモートセンシングを用いた作物生産量推定法の検討
第1報 2017年の宮城県沿岸部農家圃場における大豆生産阻害要因の評価
山本修平(東北大学農学研究科)・橋本直之・齋藤裕樹・牧 雅康・本間香貴
- (19) 自然災害により生じた電離圏変動の定量的解析
中田裕之(千葉大学工学研究院)・長南光倫・井上雄太・益子竜一・町 康二郎・大矢浩代・
鷹野敏明・富澤一郎
- (20) UAV 搭載を目指した小型光学式(火山ガス) センサの開発研究
大前宏和((株)センテナシア)・三宅俊子・小花和 宏之・ヨサファット T. S. スマンティ
ヨ
- (21) レーザー誘起ブレイクダウン分光法を用いた大気中エアロゾルのリモート成分分析手法の
開発
染川智弘(公益財団法人レーザー技術総合研究所)・大塚昌孝・久世宏明・前田佳伸・
藤田雅之・宮永憲明
- (22) 流域源頭部において土砂動態が降雨一流出関係に及ぼす影響
堀田紀文(東京大学農学生命科学研究科)・小田智基・山川陽祐
- (23) UAV リモートセンシングによる熱赤外カメラを用いた水稻モニタリング
田中 圭(一般財団法人 日本地図センター)・濱 侃・近藤昭彦
- (24) Lithosphere-Atmosphere-Ionosphere Coupling の観測学的研究
大村潤平(千葉大学工学研究院)・吉野千恵・服部克巳・Dimitar Ouzounov・
Jann-Yenq Tiger Liu・下 道國・小西敏春・古屋隆一
- (25) 無人小型飛行体搭載用 LED ミニライダーの開発—ダストの挙動観測と解析—
椎名達雄(千葉大学工学研究院)

【意見交換会】 17:00-18:30 環境リモートセンシング研究センター・1階会議室